

度会町における

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

度会町教育委員会

令和4年10月

小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、度会町の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取り組みを以下のとおりまとめました。

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されている全国調査です。また、そのような取り組みを通じて、よりよい教育のための継続的な検証改善サイクルを確立することが目的です。

しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校及び家庭や地域での教育活動における数値化可能な部分の一側面です。このことを今回の調査において十分考慮し、今後の当町の教育の一層の充実を図っていくことが大切です。

1. 調査の概要

(1) 調査日

令和4年4月19日（火）

(2) 対象者

度会小学校6学年（62名）、度会中学校3学年（68名）で実施

(3) 対象科目

小学校：国語・算数・理科

中学校：国語・数学・理科

(4) 調査内容

①教科に関する調査

ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記の2点を一体的に問い、検証を行うことにより、教科指導や学習状況の改善につなげる。）

②生活習慣や学習環境等に関する調査

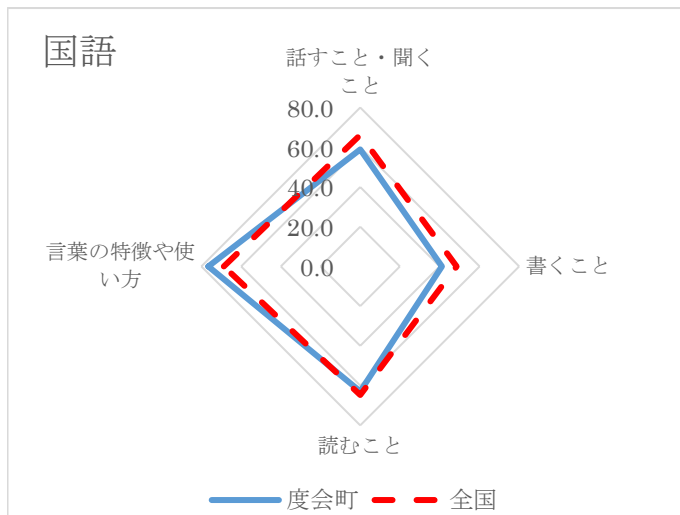
ア) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する状況等を確認・把握する。（児童・生徒質問紙）

イ) 学校における指導方法に関する取組や学校における人物・物的な教育条件の整備状況等の確認・把握する。（学校質問紙）

2. 教科別概要

(1) 小学校国語

■領域別平均正答率の状況



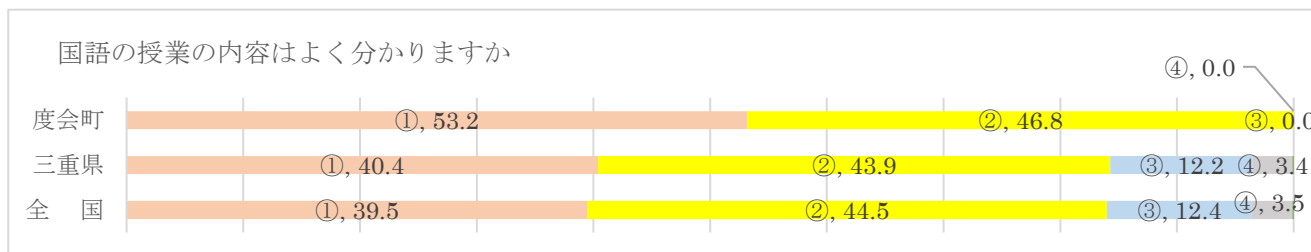
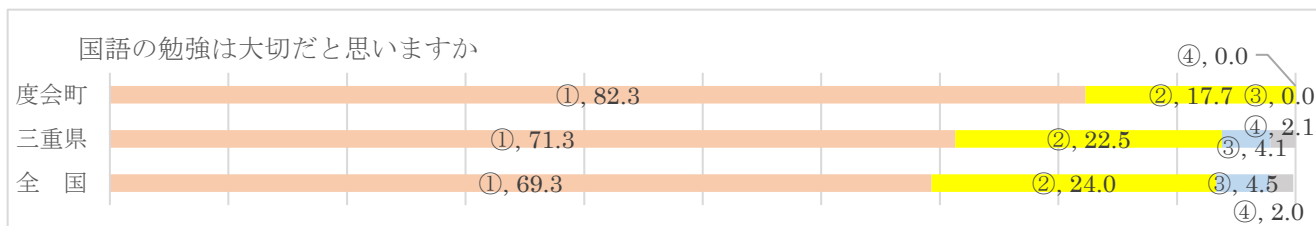
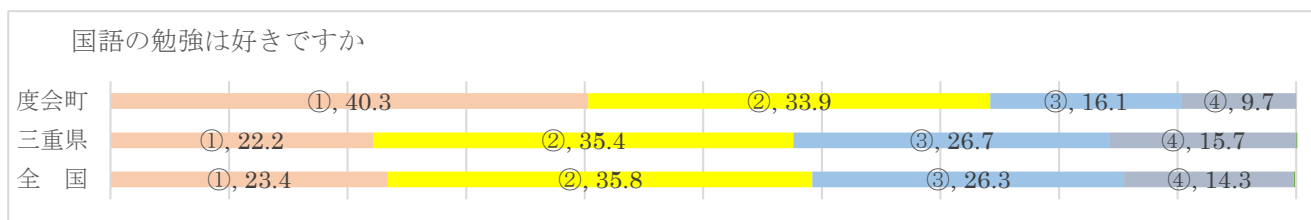
■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○話し言葉と書き言葉の違いを理解する力
(町 87.1% 県 84.2% 全国 85.5%)

○漢字の仮名の大きさ、配列に注意して書く力
(町 82.3% 県 79.6% 全国 77.9%)

△文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付ける力
(町 38.7% 県 35.9% 全国 37.7%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



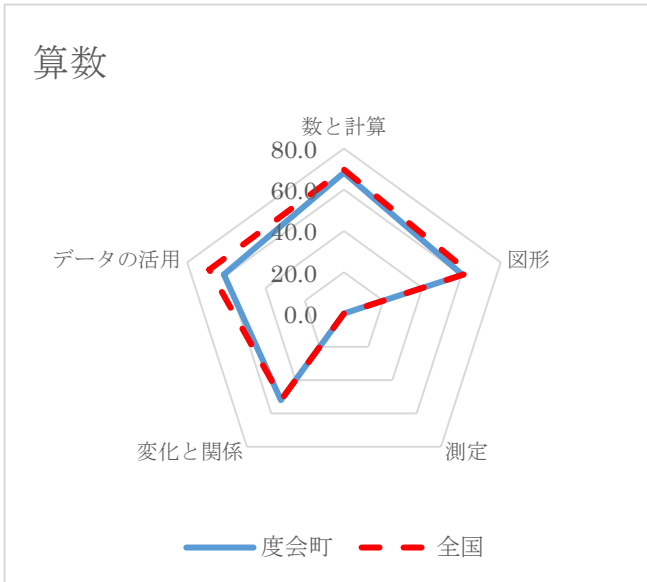
■全体的傾向と課題

- ・「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した児童をあわせた割合が、三重県全国と比べて高くなっています。

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項については、概ね身につけています。
- ・自分の考えを文章でまとめる力、文書の書き方や構成について考える力、文書の良いところを見付ける力等は、県や国と同様、経年的な課題となっており、更に伸ばしていく必要があります。

(2) 小学校算数

■領域別平均正答率の状況



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○二つの数の最小公倍数を求める力

(町 75.8% 県 71.3% 全国 73.2%)

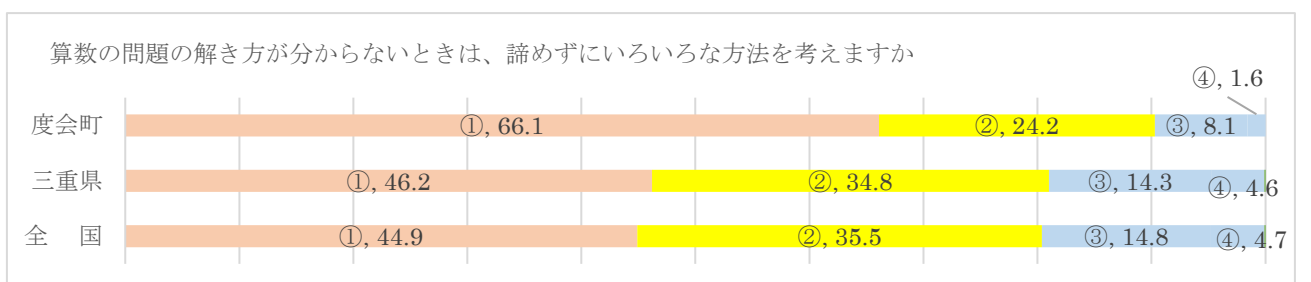
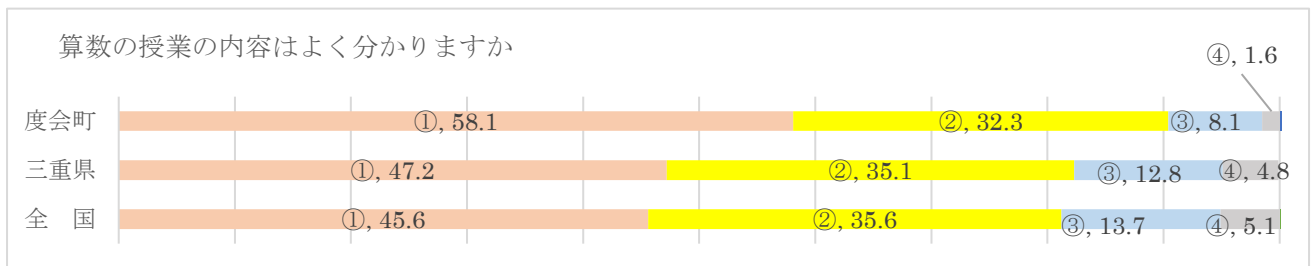
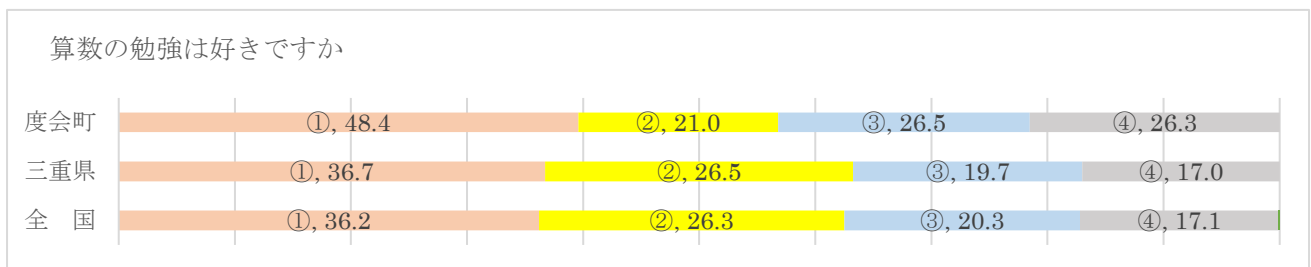
○。百分率で表された割合を分数にする力

(町 83.9% 県 75.1% 全国 71.1%)

△果汁が含まれているジュースのように、数量が変わっても割合が変わらないことを理解する力

(町 16.1% 県 18.7% 全国 21.4%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

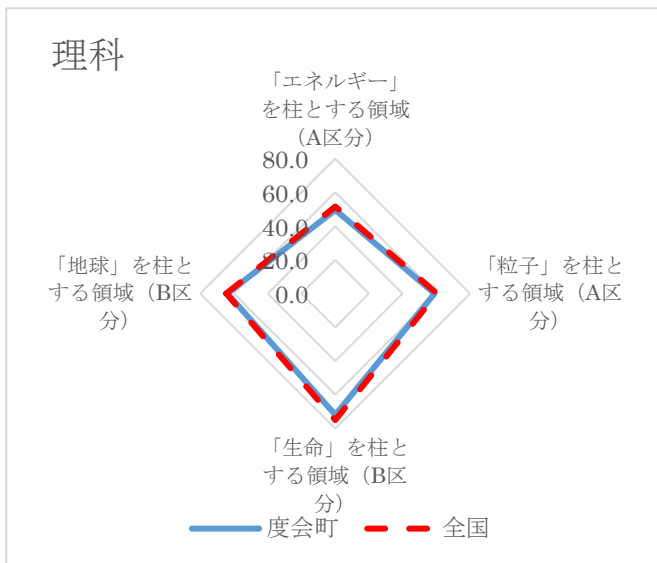


■全体的傾向と課題

- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の授業内容はよくわかりますか」「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という問いについて、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまると回答した児童をあわせた割合が、県、全国と比べて高くなっています。
- ・割合を問う問題を解く力はついてきていますが、果汁の問題のように日常体験や実感を伴う理解に課題がみられます。

(3) 小学校理科

■領域別平均正答率の状況



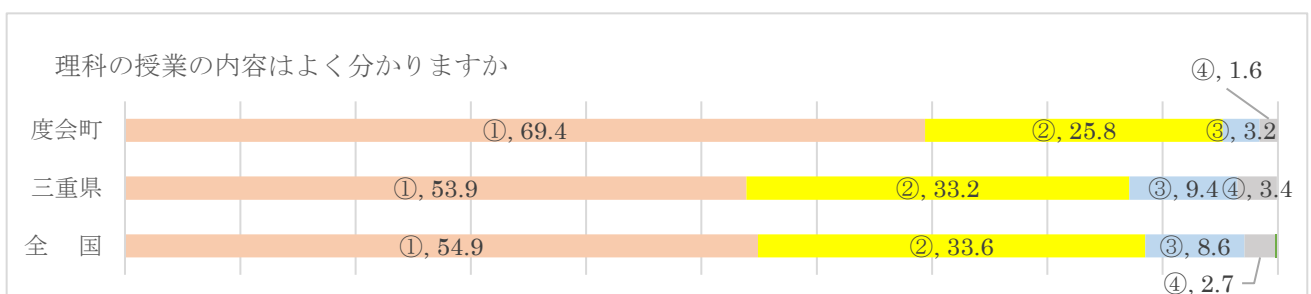
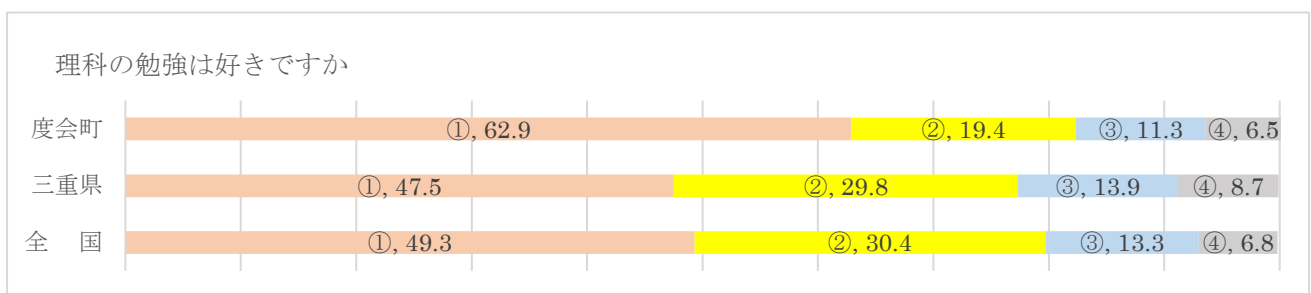
■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○観察の視点を基に、問題を解決するための道筋を構想し、自分の考えを持つ力
(町 95.2% 県 91.5% 全国 92.9%)

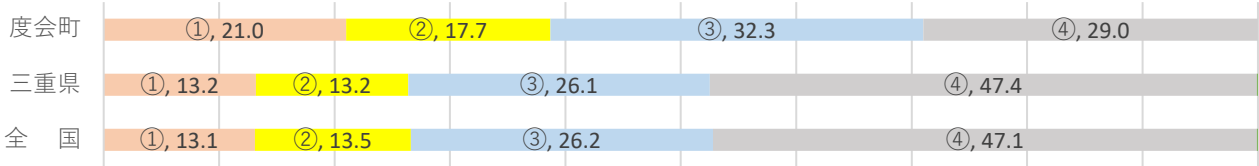
○観察で得た結果を問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つ力
(町 85.5% 県 81.8% 全国 82.3%)

△光が進む方向について、光の性質を基に考える力
(町 29.0% 県 27.5% 全国 27.8%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか

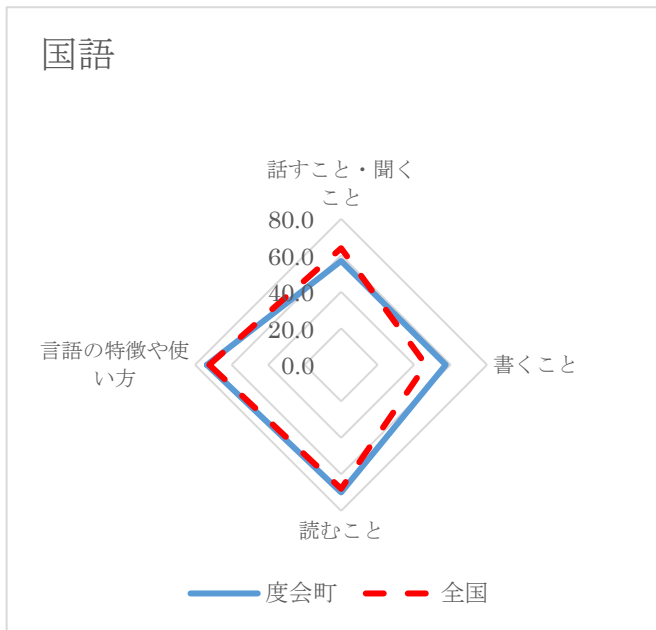


■全体的傾向と課題

- ・「理科の勉強が好き」「理科の授業がよくわかる」と答えた児童の割合が県、全国を大幅に上回り、理科の学習に対して大変興味関心を持っている傾向が見られます。
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思っている児童の割合が県、全国よりも高い傾向が見られます。
- ・実験結果から持った自分の考えを、記述する等まとめる力に課題が見られます。
- ・光等、エネルギーの性質から考察する力に課題が見られます。

(4) 中学校国語

■領域別平均正答率の状況

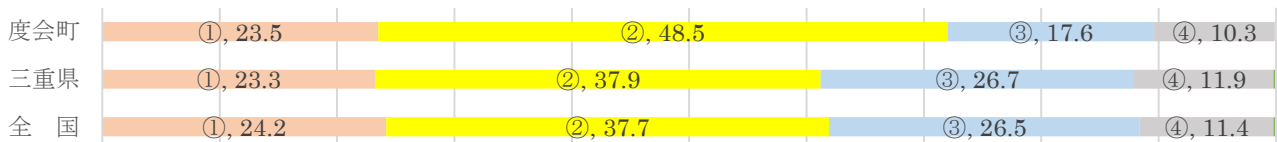


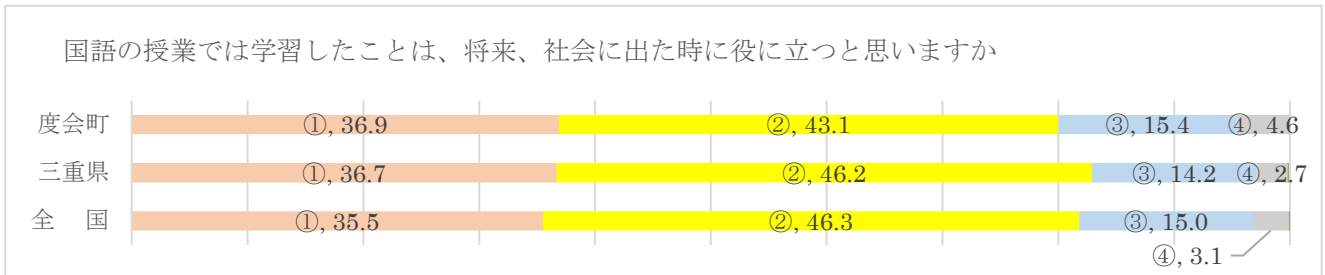
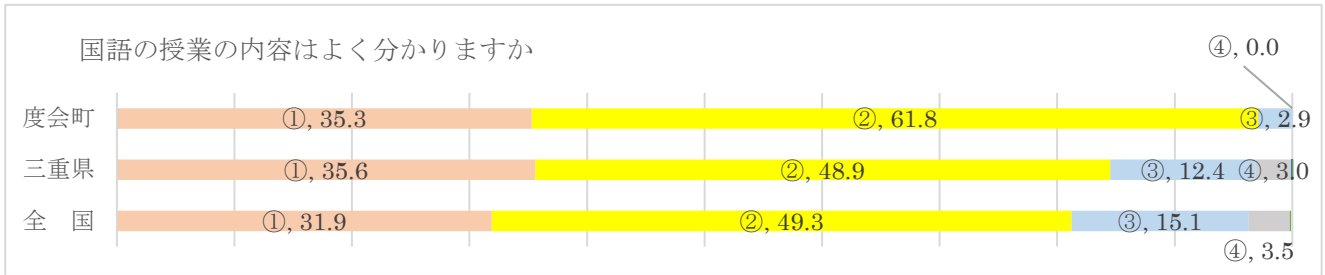
■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

- 場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する力
(町 86.8% 県 74.4% 全国 73.8%)
- 文脈に即して漢字を正しく書く力
(町 86.8% 県 79.1% 全国 80.5%)
- △文章表現の技法について理解する力
(町 48.5% 県 50.8% 全国 52.5%)
- △行書の特徴、書き方について理解する力
(町 35.3% 県 39.5% 全国 39.4%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

国語の勉強は好きですか



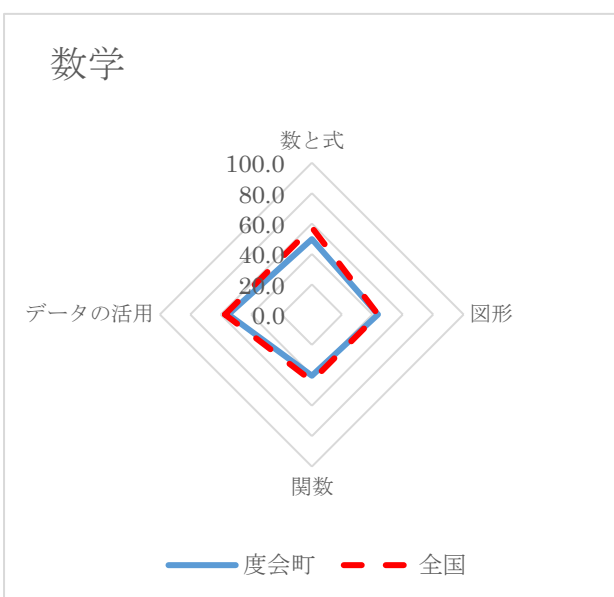


■全体的傾向と課題

- ・語句や文の理解、使い方、段落相互の関係に注意して書くこと、等については昨年度よりも改善傾向が見られます。
- ・「国語の勉強が好きですか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立ちますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した生徒を合わせた割合が、三重県全国と比べて高くなっています。
- ・聞き手の興味関心に考慮して表現を工夫する、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫して話す等、相手意識をもった国語の力の活用に課題が見られます。

(5) 中学校数学

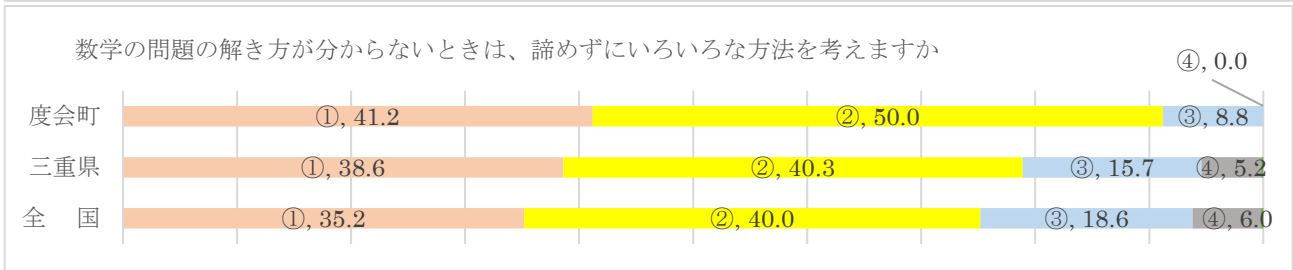
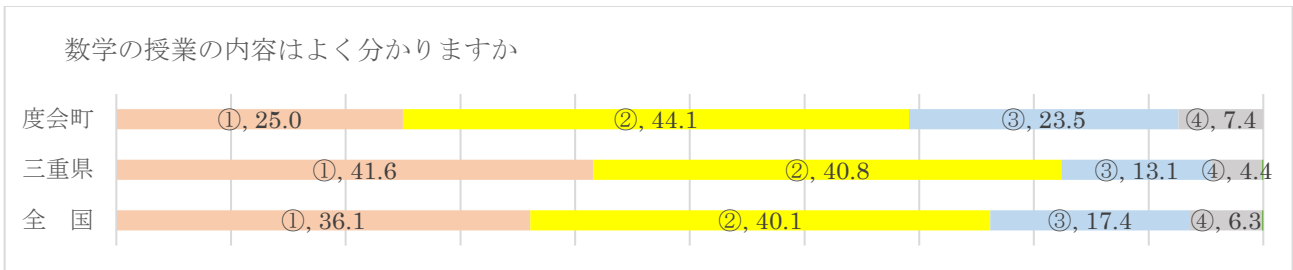
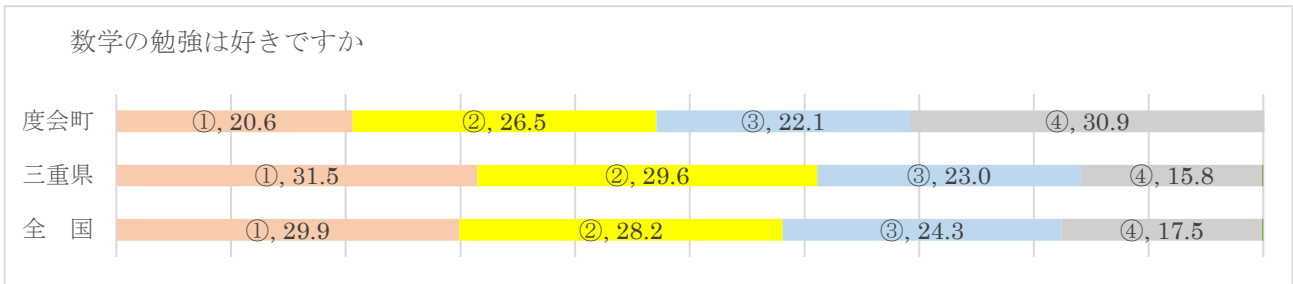
■領域別平均正答率の状況



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

- 容器のふたを投げた時など、多数回によって得られる確率の意味を理解する力
(町 82.4% 県 83.5% 全国 83.3%)
- 証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を説明する力
(町 80.9% 県 74.9% 全国 73.2%)
- △図形の角について筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する力
(町 10.3% 県 12.5% 全国 12.5%)
- △一次関数の変化の割合を理解する力
(町 27.9% 県 36.5% 全国 37.9%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

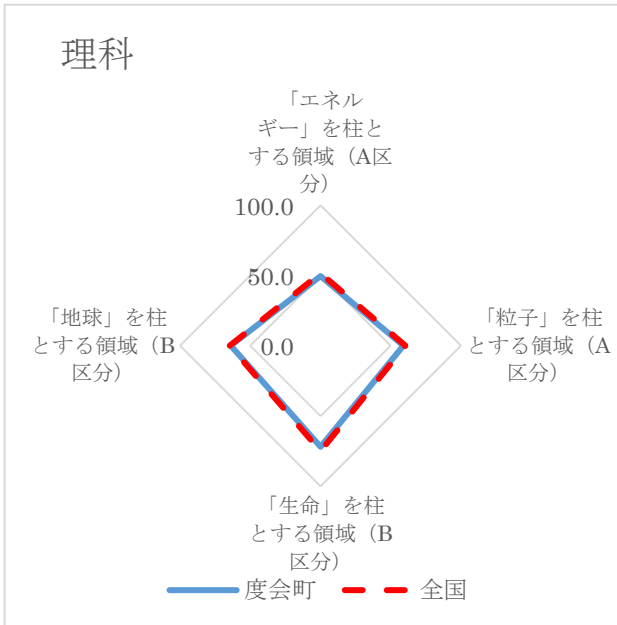


■全体的傾向と課題

- ・確率、合同を除き正答率が全国平均を下回っています。また、因数分解の正答率が県、全国と比較し大変低くなっています。数学的な見方や考え方、表し方について理解を深め、それらを説明する力をつけていく必要があります。
- ・「数学の勉強が好きですか」「数学の授業の内容はよくわかりますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した生徒をあわせた割合が、三重県全国と比べて低くなっています。
- ・「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した生徒をあわせた割合が、三重県、全国と比べて高く、無回答率と比例している傾向が見られます。

(6) 中学校理科

■領域別平均正答率の状況



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

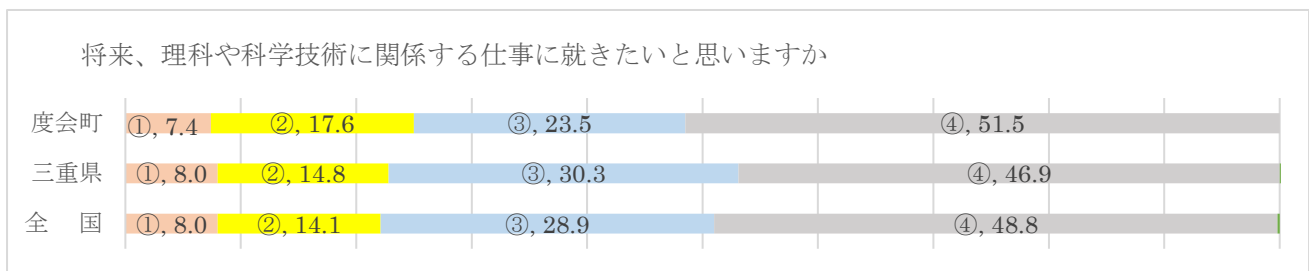
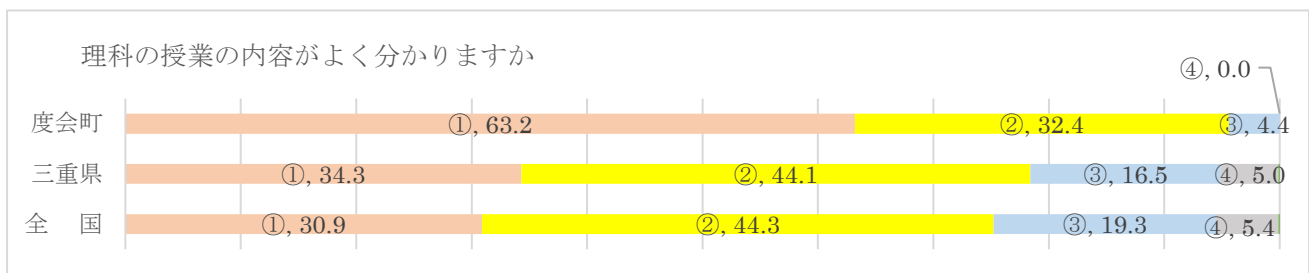
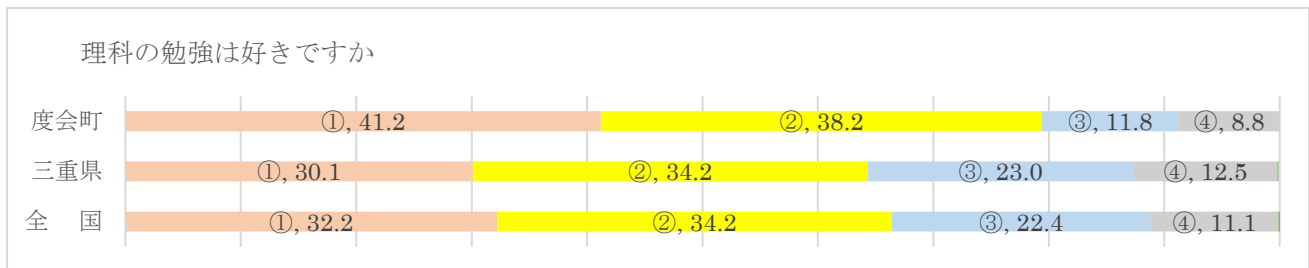
○節足動物の外部形態を観察し、生活場所や移動と関連付けてその理由を説明する力
(町 72.1% 県 75.7% 全国 74.5%)

△力の働きに関する知識・技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、説明する力
(町 16.2% 県 14.1% 全国 15.3%)

△地層について、ルートマップとスケッチを関連付け、地層の傾きを解釈する力
(町 22.1% 県 33.5% 全国 34.2%)

△水素を燃料として使う仕組みを化学変化とエネルギーの知識を関連づけて理解する力
(町 23.5% 県 24.5% 全国 24.8%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



■全体的傾向と課題

- ・「理科の勉強が好き」「理科の授業がよくわかる」と答えた児童の割合が県、全国よりも高く、理科の学習に対して興味関心を持っている傾向が見られます。
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思っている児童の割合が県、全国よりも高い傾向が見られます。
- ・飛行機雲や地層等について多角的に分析したり、空間的な見方を働かせて分析したり考察したりする力に課題が見られます。
- ・力の働きや水素等、エネルギーの性質とその活用を関連付けて考察する力に課題が見られます。

(7) 各教科平均正答率の状況

<小学校>

(%)

平均正答率	国 語	算 数	理 科
度 会 町	6 5	6 1	6 2
三 重 県	6 5	6 2	6 3
全 国	6 5 . 6	6 3 . 2	6 3 . 3

<中学校>

(%)

平均正答率	国 語	数 学	理 科
度 会 町	6 9	4 7	4 5
三 重 県	6 8	5 2	4 8
全 国	6 9	5 1 . 4	4 9 . 3

3. 児童生徒質問紙調査の概要

児童生徒質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。

生活全般の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境に関わること等への問いがあります。各教科に関する主な質問紙調査結果については、2. 教科別概要でも掲載しています。

この項では、「豊かな人間性・学校生活・家庭生活（生活習慣・学習習慣）」の3つの項目に係る主な調査結果と傾向について記載しました。

なお、特別に記載のない質問項目については、「している」「どちらかと言えばしている」又は、「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合の合計を記載しています。

【豊かな人間性】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
自分には良いところがあると思いますか	小	87.1	77.9	79.3	7.8
	中	79.4	79.7	78.5	0.9
人が困っているときは、進んで助けていますか	小	90.4	89.9	88.9	1.5
	中	97.0	90.1	88.4	8.6
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	小	87.1	72.8	74.5	12.6
	中	76.5	68.0	67.1	9.4
自分がやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	小	95.1	87.9	87.2	7.9
	中	97.6	88.0	86.6	11.0

- ・「自分には良いところがある」、「困った人を助けたい」、「難しい事でも失敗を恐れなくて挑戦する」と回答している児童生徒が多いです。自己肯定感が高く、思いやりがあり、前向きに最後まで挑戦する意思と力を持っているという傾向が見られます。

【学校生活】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
学校に行くのは楽しいと思いますか	小	91.9	85.0	85.4	6.5
	中	92.6	84.3	82.9	9.7
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	小	82.3	73.1	73.5	8.8
	中	86.8	79.4	76.9	9.9
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	小	71.0	68.6	68.1	2.9
	中	77.9	68.3	67.6	10.3

- ・「学校に行くのは楽しい」と回答する児童生徒の割合が全国と比べ高く、昨年度よりも小学校で7%、中学校で6%増加しています。
- ・自分の考えを持ちながらも、相手の立場に立って、自分と違う意見を考えることに楽しさを感じて児童生徒の割合が全国と比べ高くなっています。
- ・自分が困ったり不安になったりした時に相談できる大人が学校にいる、と考えている児童生徒の割合が、県や全国と比較して高いです。特に中学生において割合が高い傾向が見られます。

【家庭生活（生活習慣）】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
朝食を毎日食べていますか	小	92.0	94.3	94.4	-2.4
	中	92.6	92.5	91.9	0.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	88.7	80.7	81.5	7.2
	中	73.6	80.3	79.9	-6.3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	95.2	90.5	90.4	4.8
	中	92.7	92.3	92.2	0.5
普段1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（ <u>学習やゲームの時間は除く2時間以上の割合</u> ）	小	37.1	34.1	32.5	4.6
	中	58.8	56.8	52.0	6.8

- ・朝食を毎朝食べている児童生徒は90%を超えていますが、小学校において県、全国よりも若干低い傾向が見られます。
- ・毎朝同じくらいの時刻に起床する児童生徒がほとんどですが、就寝については中学生で県、全国よりも幅の広い時刻であるという傾向がみられます。
- ・SNS、動画視聴が2時間以上の割合は県、全国よりも割合が高く、特に中学生にその傾向が強く見られます。

【家庭生活（学習習慣）】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (良くしている、ときどきしていると回答した割合)	小	69.6	69.5	71.1	-1.5
	中	76.5	62.1	57.5	19.0
平日、学校以外での1日あたりの学習時間 (塾・家庭教師等含む)(1時間以上と回答した割合)	小	64.2	56.5	59.4	4.8
	中	70.6	68.5	69.5	1.1
土日や休日の、1日あたりの学習時間(塾・家庭教師等含む)。(2時間以上と回答した割合)	小	17.8	21.1	26.2	-8.4
	中	38.3	38.3	44.9	-6.6
学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間読書しますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く・30分以上の割合)	小	37.1	34.0	36.4	0.7
	中	35.3	24.9	27.3	8.0

- ・「計画立てて家庭学習をしている」と回答した割合は、県、三重県ともに大きな変動はありませんが、町内では小学校において昨年度よりも17.3%減、中学校においては28.8%増となっています。また、平日及び土日などの学習時間においても、昨年度より小学校では減少傾向、中学校では増加傾向となっています。
- ・「平日に1時間以上読書をする」と回答した児童生徒は全国と比べ高い割合となっています。小学校においては昨年度比12.5%増、中学校においては昨年度比19.9%増となっています。

4. 今後の取り組みについて

小学校では、朝の学習時間を有効活用しています。授業前に落ち着いた気持ちで読書をしたり、定着しきれていない箇所の反復練習をしたりすることにより、学習効果が上がってきました。また、高学年では習熟度別に授業を行っています。授業での「わからなかったことがわかった」という達成感や自己肯定感を高めることにより、一人ひとりが積極的に学ぶことを大切にしています。

学校だけでなく、家庭での学びについては、「家庭学習の手引き」を作成、配布し、ご家庭と連携した家庭学習の取り組みを行ってきました。

中学校では、昨年度より「W-STYLE（わたらいスタイル）」を定め、生活規律や学習規律等、生徒自らが規律を守ることで相手を思い合い、お互いの学校生活や学びを保障し高めあえるような環境づくりと、教職員の指導の統一化の徹底を図ってきました。今回の調査結果において、昨年度以上にその高まりを感じられる項目が多くありました。

また、小中学校において、ICT機器の授業及び持ち帰りでの積極的な活用を推進しています。学びのツールとして適切かつ効果的に活用することにより、子どもたちの主体的・対話的で深い学び・途切れない学びを実現させ、学力向上と誰ひとり取り残さない教育の充実を目指しています。

今回の調査で見えてきた子どもたちの学力や学習状況をふまえ、今後も一小一中の強みを生かした9年間の学校教育を柱として、小学校、中学校、教育委員会委員会、家庭、地域が更なる連携を図り、学習環境の充実に取り組んでいく必要があります。

ご家庭や地域の皆さまには、今後も教育活動へのご理解・ご協力とともに、ご家庭や地域における子どもたちの成長へのサポートを、どうかよろしく願いいたします。